

メガネをおしゃれに取り入れて輝いている子どもたちを表彰する 「キッズメガニスタアワード 2020」グランプリ決定 リモート授賞式にサプライズゲストとしてお笑い芸人ぺこぱさんが登場

株式会社ジンス（東京本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：田中仁、以下 JINS）は、メガネをおしゃれにファッションに取り入れて輝いている子どもたちを表彰する「キッズメガニスタアワード 2020」のリモート授賞式を 2020 年 5 月 30 日（土）に実施し、グランプリとして富山県在住の津田夕愛さん（7 歳）を表彰しました。

授賞式にはサプライズゲストとしてお笑い芸人のぺこぱさんが登場。メガネをおしゃれにかけている子どもたちに対し、その前向きな姿勢を持ち前の「ノリっこまない芸」で称賛し、式典を盛り上げました。



応募総数 1,360 件の中からグランプリを選出

「キッズメガニスタアワード 2020」は、視力矯正器具としてだけではないメガネの魅力を子どもたちに伝え、前向きにメガネをかけてもらうための新しい取り組みとして、今年初めて開催しました。2020 年 3 月 27 日（金）から 1 か月間、Instagram の投稿で応募を受け付けたところ、計 1,360 件の応募をいただきました。厳正なる審査の結果、グランプリには富山県在住の津田夕愛さん（つだゆうあさん・7 歳）を選出。メガネをおしゃれにかけこなす姿だけでなく、「メガネをかけることで見えたコト・モノ」という 2 次審査時の質問に対し、「視力矯正のためにメガネをかけはじめたが、メガネで色々なものが見えて世界が広がった」という前向きなコメントが選出時の決め手となりました。

また、本アワードを後援いただいたファッション誌「VERY」が選ぶ「VERY 賞」は、京都府在住の亀田基央さん（かめだもとひささん・8 歳）、朝日新聞社が選ぶ「朝日新聞賞」は、愛知県在住の高田亜矢子さん（たかだあやこさん・7 歳）に決定しました。

サプライズゲストとしてお笑い芸人ぺこぱさんがリモート授賞式に登場

新型コロナウイルス感染防止対策のためリモート形式となった今回の授賞式には、1 次審査を通過した約 80 名の子どもたちがそれぞれの自宅から参加。式典の最中には、サプライズゲストとして子どもたちに人気のお笑い芸人ぺこぱさんが登場。参加した子どもたちは手を叩いて喜びました。シュウペイさんが「シュウペイポーズをみんなでやろう」と呼びかけると、画面越しにたくさんの子どもたちがポーズをし、リモート授賞式に一体感が生まれました。

グランプリが発表されると、受賞者の津田さんは驚きとともに満面の笑みを浮かべ「うれしいです」とコメント。津田さんの応募写真を見てぺこぱのお二人も「おしゃれだ」「服装に合わせていてメガネが映える」と感心しました。松陰寺太勇さんは「楽しいイベントがもう終わってしまって寂しすぎる。時を戻そう」と持ち前のセリフで式典を締めくくり、最後まで子どもたちを盛り上げました。

実施概要

【実施名称】キッズメガニスタアワード 2020

【応募受付期間】2020年3月27日（金）12：00～2020年4月27日（月）23：59

【応募対象】エントリー時点で、13歳までのお子様

【賞の種類】グランプリ（1組）

VERY賞（1組）

朝日新聞賞（1組）

【受賞特典】グランプリ：①JINS KIDS モデルに起用

②メガネ一生分プレゼント（JINSギフト券24万円分）※

VERY賞：VERY9月号（8月7日発売号）にてKIDSモデルとして出演（予定）

朝日新聞賞：①受賞者の方を特集した特別号外をプレゼント

②6月中旬に朝日新聞全国版朝刊で掲載予定の当社広告内でインタビューを掲載

※算出方法

- ・一生(平均寿命)を84歳と想定し、0歳からの84年とする
- ・メガネの平均購入サイクルは2年11ヵ月（GFK2018メガネ消費者調査）
- ・JINSの2019年のメガネ一式単価は8,025円
- ・一生分は84年/2年11ヵ月×8,025円=232,725円

受賞者詳細

【グランプリ】

津田夕愛さん（つだゆうあさん・7歳）富山県在住



・プレゼンター：株式会社ジンス 代表取締役 CEO 田中仁 コメント

視力矯正としてメガネを使用しながら、ファッション的にもうまく取り入れている、というところで選出させていただきました。

ファッションに関して、今回1人何投稿でも応募が可能で、夕愛さんも複数投稿してくれたのですが、そのどれもがメガネをかけこなした大人顔負けのおしゃれなコーディネートで、夕愛さんの投稿の中でどの写真を選ぶかを迷ってしまうほどでした。

また、メガネとの関係性においても、最初は視力矯正のためにメガネをかけることになったということで、必ずしもポジティブな気持ちばかりではなかったかもしれませんが、メガネをかけて色々なものがみえるようになったことにより、ご本人だけでなくお母様も前向きになれて、今では、メガネをファッションとしても、個性としても楽しんでいらっしゃる、そんな様子がとても素敵だと思いました。

【VERY 賞】

亀田基央さん（かめだもとひささん・8歳）京都市在住

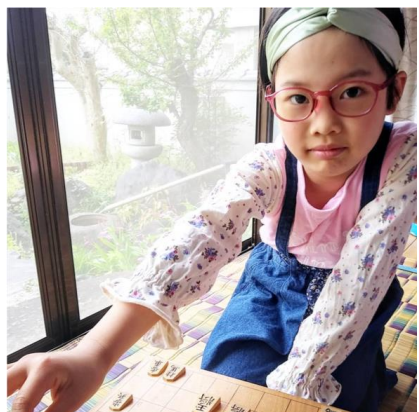


・プレゼンター：「VERY」編集長 今尾朝子さん コメント

「実用、ファッション両面から上手に選ばれている」という視点で選出させていただきました。自ら JINS 店頭でフィッティングして選ばれたとのことで、フレームが目や顔の形にぴったりなのも納得です。まだ亀田くん自身、メガネ姿には少し照れてしまうところもあるようですが、メガネ姿、とても似合っています。今後是非メガネをもっともっと好きになっていただき、同世代のお子さんたちに「メガネはカッコいい！」を広めて欲しいという期待もこめて、の選出です。

【朝日新聞賞】

高田亜矢子さん（たかだあやこさん・7歳）愛知県在住



・プレゼンター：朝日新聞デジタル「MOM'S STAND（エムスタ）」編集長 小田切陽子さん コメント

将棋を頑張っている高田さん。メガネをかけることで女流棋士になるという大きな夢に近づいていけるという作文が、とても素晴らしいと思い選出しました。

「お母さんに買ってもらった可愛いピンクの眼鏡をかけると『勝つぞ』モードに入って、駒や盤に集中できて強くなれます。眼鏡のレンズを通すとちょっと視界が変わるから、不思議だけど、その時だけ見える勝ち筋もあります。」という部分、まさにメガネをかけることが人生を豊かにしてくれる、ということを体現していると思いました。また、高田さんは将棋をオンラインでやることが多く、目を守るためにブルーライトカットメガネをかけ始めたというエピソードも、目の健康にしっかり向き合っていることがよくわかると思います。